山ノ内町立学校づくり準備委員会 会議結果報告書

| 会議名 | 第5回 山ノ内町立学校づくり準備委員会 |
|---------------|---|
| | |
| 会場 | 令和7年9月26日(金) 午後5時30分~午後7時30分 山ノ内町文化センター 3階 ホール |
| 会場 出席・傍聴人数 | 出席 19人 / 欠席 10人 傍聴者 6人 |
| 山州。污咙八剱 | 【報告事項】 |
| 会議内容 | (1)前回委員会の会議結果について(資料 1) |
| | (2) まちづくりこども委員会の会議結果について(資料2) |
| | (3)インスタグラム開設について(資料3) |
| | 【会議事項】 |
| | (1)統合学校の開校に向けたコンセプトについて |
| | |
| | 3グループに分かれ、テーマ①では過去の委員会で印象に残っている話や大事 |
| | だと思った点について意見を出し合い、テーマ②ではこどもたちが安心していら |
| | れる場所と思うところを付箋に書き模造紙に貼り、同じ施設・空間となる括りご |
| | とにまとめた。その後ワールドカフェ方式により、他のグループの模造紙を見て |
| | きた委員から共有されたアイデアなどの意見交換を行い、新しい学校に必要と思 |
| | われる場所や空間について共有を図った。 |
| | 【その他】 |
| | ・10月1日の先進地視察について |
| | ・学校づくりにかかるシンポジウムについて |
| | ・参考資料第4次長野県教育振興基本計画コンセプトブック「未来をつくる学び |
| | でつくる」の配布について |
| 油 学事 | ・第6回学校づくり準備委員会 10月 28日(火)17:30~よませふれあいセンター |
| 決定事項等 | ・学校づくりにかかるシンポジウムを 11 月 16 日(日)に開催 |
| | 【グループ討議まとめ】 |
| | テーマ①:過去の委員会で印象に残っている話や大事だと思った点について |
| 会議概要及び質問・意見等 | 1. 理想の実現に向けた課題認識 |
| | 前回の準備委員会の講演で示されたフリースクールのような先進的な教育実 |
| | 践には学ぶ点が多いと感じた一方で、それを地域や時代に合わせて実現するに |
| | は、人手や財源といった現実的な課題と限界を乗り越える必要がある。 |
| | 2. 地域と大人の意識変革の必要性 |
| | 新しい学校づくりを成功させるには、こどもだけでなく、地域住民、特に大人 |
| | の側の意識改革が不可欠である。新しい価値観への変化はこどもより大人の方が |
| | 難しく、教育に関心が低い人たちを含む価値観のアップデートが必要である。 |
| | 3. 持続可能なコミュニティと地域統合 |
| | 学校と地域が連携・協働するコミュニティ・スクールについて、ボランティア |
| | に頼るのではなく、大人が継続的に参加できる仕組みを検討する必要性がある。 |
| | 学校統合に伴い、これまでの学区ごとの意識を排し山ノ内町全体で一つという |
| | 新しい地域意識を醸成し、学校と地域が一体となって融合していくことが重要で |
| | ある。 |

テーマ②:こどもたちが安心していられる場所について

- 1. リラックス・リフレッシュ・一人になれる場所
- ・一人になれる場所:狭くて落ち着く場所、静かに読書できる場所、ゴロゴロできる空間、隠れる場所。
- ・**リラックス設備**: 足湯 (地域の人も使える)、サウナルーム、リラクゼーションルーム。
- ・場所の工夫: 図書室の本棚と本棚の間、外のベンチ、三角の隅。
- 2. 体を動かす・発散・遊びの空間
- ・運動・遊び: 天候に関係なく遊べる屋内遊技場/運動室、様々なパターンで遊べる・運動できる場所。
- ・発散場所: 大声を出せる場所 (気持ちを整理できない子のため)、バンドやカラオケができる場所。
- ・体育館: 冷暖房付き (災害時の避難所機能も考慮)、床が柔らかい素材。
- 3. 多様な学び・創造・交流の空間
- ・メディア・情報発信: メディアラウンジ/シアター、大画面で発表ができる場所、プロジェクションマッピングで世界旅行ができる部屋。
- ・交流・集いの場:生活交流空間(自由空間)、カフェ、売店/コンビニ、友達と 自由に話せる場所。
- ・**オープンスペース**: 隔たりがない、壁の開閉で広さを変えられる、廊下を無く しスペースを削減。
- ・地域連携:地域の人も使える施設、地域交流のための場所。
- 4. 環境・生き物との触れ合い
- ・動物・生物:動物棟、アニマルセラピー、犬や猫などの動物と交流・触れ合える仕組み、水族館、魚釣り。
- ・天体:屋上活用(景色・星空観察)、プラネタリウム、天体望遠鏡。
- 5. 運営・その他
- ・職員の場所:職員休憩室、マザーズルーム(先生が休める部屋)。
- ・「**教室」の概念**: 教室という項目がなかったグループが多い一方で、時と場合 によって仕切り(壁)が必要。

○全体的なまとめ

今後の整備基本方針案作成に向けて、新しい学校の方向性について以下の 4 点にまとめた。

- 1. こども一人ひとりが自らの興味関心をワクワクしながら深めることができる 学びができる場を作る。
- 2. 多様な人々の繋がりが生みやすい施設。
- 3. こどもや大人が挑戦したくなる、また挑戦を支えることができる施設。
- 4. 誰もが安心できる多様なタイプの居場所や学びがある施設。

会議概要及び 質問・意見等